

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【城北小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> ・基礎・基本の定着や獲得した知識・技能を活用すること。 <指導上の課題> ・児童が反復・習熟に取り組む時間で、児童が自らの学びを振り返る時間を確保すること。	⇒ ・基礎的・基本的な学習の反復・習熟を朝の学力アップタイムや各授業時間、家庭学習を通して行う。【毎時間】 ・デジタル教材等も活用することで児童の学習履歴を確認して個別の支援が行えるようにする。【月1回程度】 ・振り返りの時間を取り、学んだこと・分かったことなどを振り返ることで、次の学びに生かせるようにする。【毎時間】
思考・判断・表現	<学習上の課題> ・自分の考えを根拠をもって表現すること。 ・現力を支える豊かな語彙力の獲得や粘り強く学習に向き合うこと。 <指導上の課題> ・資料の見方に対する指導や根拠をもとに自分の考えを表現する活動時間を確保すること。	⇒ ・ICTを活用し、児童の思考や考えを可視化することで、自身の表現力を高める。【毎時間】 ・考えを伝え合う活動では、聞き手が質問等することで、児童同士のやり取りを活性化し学びが深まるようにする。【各単元で1回以上】 ・児童自身が授業の中で学び方を選んで決める場面を設定し、自ら学びに向かう力を高められるようにする。【毎時間】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)